

# 二町内の自治会新聞

## 坂の上の雲を読んで

坂の上の雲は、司馬遼太郎が書いた時代小説である。今から十数年前読んだ小説であるにも拘らず未だに記憶が鮮明に残っている。

主人公は、現代俳句の創始者正岡子規、と日露戦争で活躍する秋山兄弟である。いずれも旧松山藩の下級武士の子弟である。彼らは、貧しい中にも日本の将来について真剣に考え、自分としての考えを持ち、最大限に自己実現を図る。正岡子規は、病弱であったため、秋山達とは、別な道を進み、現代俳句の創始者となる。

秋山兄弟の兄は、秋山好古と言いい陸軍士官学校へ進み、日本初の騎兵隊を組織する。日露戦争当時は、シベリヤの荒野で世界最強のコザック騎兵隊と互角に渡り合い、これを打ち破る殊勲をあげ

る。乃木大将の二百三高地の奪取、旅順港陥落に大いに貢献した。

弟秋山真之は、海軍に進み、東郷元帥が率いる連合艦隊の旗艦三笠の作戦参謀となる。

日露戦争を大いに左右する東シナ海の海戦で日本の連合艦隊は、世界最大級のバルティック艦隊を打ち破ることになる。

世界が驚く快挙であった。作戦面において、秋山の功績は大変大きなものであった。

この二つの戦いで日露戦争は、日本の勝利となった。

もしこの二つの戦いで日本が負けていたら、アジアの地図は、変わっていたはずである。

日本、韓国、満州等はロシアの領土になっていたはずである。戦後六十年になっても北方四島が返還されない

事務局  
村上徹郎  
TEL 368-5384  
住所 健軍本町 26-3

事からしても日本は、世界地図から消え去ったままだったに違いない。

それだけ日本にとって日露戦争は、天下分け目の決戦だったのである。

もっと時代を遡れば幕末から明治維新にかけても同じような事が起こった。世界の大半が欧米列強の属国化、領土になっていた時代、小さな小さな日本が幕藩体制を終わらせ、近代日本を造り上げたのも、当時の事情からすれば不可能に近い事でした。

日本の危機を救ったのは、いずれも社会的には恵まれない下級武士の子弟であった。

当時の社会には、青年達の夢や希望を受け入れ、支える力があつたものと思えます。それに、武士道精神に示される日本人の心があつたからだと思います。

今の日本は、物質文明に押し流され、日本人の心が失われています。

武士の社会では、大きな失敗は、切腹して責任を取った。町民には、切腹はなかったが失敗を犯した場合それに近い制裁が加えられた。

国会は、国の最高の機関である。従って、国事に携わる国会議員の責任は、重大である。

にも拘らず国民の税金を私したり、無駄遣いをしたり、違法行為をしても言い逃れをして責任を取らない。

上がそうだから、下も右へ倣いである。今の若者が元気がないと言われる。それは、希望や夢が育たない社会になっているからだと思います。

行政への期待もあるが先ず、家庭、地域の教育力を高め、子ども達、若者が希望や夢を育む社会を形成することが強く望まれる。

現在の日本を背負って立つ人材を育てる環境づくりをやるうではありませんか。

### 香典返し

故村上 徹様より、二町内自治会に多額のご芳

志を頂きました。町内の役に立つものに使わせて頂きたいと思っております。ここに町内の皆さんと共に感謝し、「冥福を祈念いたします。

### 朝のラジオ体操

子ども達が夏休みに入り、ラジオ体操に参加するようにになりました。一日ごとに参加者が増え三日目には、子どもが九十名、大人が二十名で百名を突破しました。大変賑やかにやっております。

早起きは、三文の得と言われます。早起き体操は、朝食をうまくし一日の良いリズムを造ります。三日坊主にならないように、「継続は、力なり」です。

### 子どもを守る会の皆さん

漸く一学期は終わりました。後半は梅雨空の中激しい雨で下着まで濡らして本当に「ご苦労様でした。

今年、活動を始めて六年目になります。今の六年生が、一年の時スタートしました。この活動のお陰で学

校やPTAとの連携が良くなりました。その事が子ども達の教育に良い効果をもたらすことになりました。六周年の記念行事も計画されています。

### 公園花壇の花植え

七月十九日中学生と公園愛護会のお爺ちゃん、お婆ちゃんそれに若いお父さんお母さんも加わり約百名が協力して、公園花壇の花植えをいたしました。三世代協働の花植えができました。

三色のマリーゴールドが色鮮やかで、公園が明るく、賑やかになりました。「ご苦労さんでした。七月の第一日曜日は、公園清掃日で公園周辺のツツジ、サツキの剪定が行われ、周りがスッキリとしてきました。

七月十八日は、市役所に頼んで、樹木の消毒と草刈りをやってもらいました。

いつ夏祭りがあっても良い状態です。夏祭りのお客様を迎える環境作りが出来ました。